

2017年4月3日
丸紅株式会社

2017年度入社式 社長訓示

1. はじめに

みなさん、入社おめでとうございます。社長の國分です。
社員・役員を代表して、心から皆さんを歓迎致します。

ご存知の方もいるかもしれませんが、丸紅の入社式はこれまで毎年、竹橋の本社ビルで行ってききましたが、その本社ビルは2020年の完成を目指して建替え中です。従って、今日は、ここ日本橋で入社式を行うこととなりました。初めての地で、初めて行う入社式、初めて迎え入れる新入社員ということで、私自身もフレッシュな気持ちでこの場に臨んでいます。

ここでまず、毎年入社式でお話ししていることですが、私の原点ともいえる、ある先輩が入社早々の私に言ってくれた言葉を紹介します。それは、「商社マンは夢だ!」という言葉です。

最初はその人が何を言っているのか分かりませんでした。よく話を聞いてみると、その意味するところは、「商社マン、商社ウーマンにとって一番大事なこと、それは大きな夢を持つこと、目標を持って、その実現のために最大限の努力をする」という事だったのです。

40年以上この会社で働いてきた先輩として言えることは、丸紅は、社員一人ひとりに真っさらな白い、大きなキャンバスを提供してくれる会社だということです。皆さんにはぜひ、大きな夢を持って、丸紅という広大なフィールドを活かして、その夢の実現に向かって努力と研鑽を積み重ねてもらいたい、そして、キャンバスに大きく、素晴らしい絵を描いてもらいたいと思います。そういう皆さんに対して、会社は最大限サポートすることを約束します。

今日はまず、私の原点ともいえる「商社マンは夢だ!」という言葉、皆さんに贈りたいと思います。

2. 社是「正・新・和」と丸紅スピリット

次に、当社の社是である「正・新・和」と丸紅スピリットについてお話しします。

1949年12月1日、新生丸紅が設立された日、初代社長に就任された市川忍さんは、全社員を前にして、「大会社の矜持を持って『正しくあれ』、進取発展の気分を常に養い『新しくあれ』と説き、そして最も望ましいこととして『役員・従業員の和』の3点を訴えました。

当社の経営理念のベースとなる社是「正・新・和」はこの講話に由来しており、今日に至るまで丸紅社員の原点として受け継がれています。そして、この社是「正・新・和」を原点として、社員一人ひとりの行動原則を

示したものが丸紅スピリットです。

具体的には、

“大きな志で未来を築け”

“挑戦者たれ”

“自由闊達に議論を尽くせ”

“困難を強かに突破せよ”

“常に迷わず正義を貫け”、の5つです。

この中で、本日皆さんが入社されるにあたり、“大きな志で未来を築け”、“挑戦者たれ”、そして“常に迷わず正義を貫け”、という3つのスピリットに込めた思いをお話ししたいと思います。

“大きな志で未来を築け”

これは最初にお話しした「商社マンは夢だ」という言葉にも通じることですが、皆さんには、丸紅でのビジネスを通じて、「日本という国の発展の一翼を担う」、「お客様や地域、社会、世界へ貢献する」、という大きな志を持って頂きたいと思います。新入社員でも、一步会社の外に出れば丸紅の代表であり、海外に出れば日本の代表です。丸紅の社員としての誇りと自覚を持ち、そして同時に胸に小さな日の丸をつけてほしいということです。グローバルに活躍すればするほど、自分のアイデンティティをしっかりと持つ事はますます重要となります。大きな夢と大きな志が人間としての **back bone** となります。

“挑戦者たれ”

これは、皆さんに、「チャレンジングスピリットを持ち続けて欲しい」、ということです。皆さんそれぞれが抱く夢や目標を実現するために、常に挑戦するという意識を持ち続けて頂きたい。現状に満足した時点で、成長が止まります。挑戦し続ける中から皆さんは学び、成長し、未来につながる道を切り拓いていくことができるのです。特に大事なことは、常に自分で考えて、考え抜いて判断して行動することです。

当然、最初は上司や先輩から仕事を学んでいくでしょうが、その中でもただ上からの指示に従って行動するだけではなく、自分の考えや意見を上司や先輩に伝え、行動する。そして結果について責任をもつということ。時には失敗することもあるでしょうが、自分で判断したことであれば必ず良い経験となって次につながります。

丸紅には若手に挑戦させ、失敗してもどんどんチャンスを与えて育てていくという風土があります。社員が一生懸命努力してチャレンジする限り、失敗しても次のチャンスを与える、そういう会社です。

みなさんも、失敗をしても次のチャンスをもものにできるよう、チャレンジングスピリットは失わないで下さい。

最後に、“常に迷わず正義を貫け”。

会社が存続し、ビジネスを続けていくためには、世の中のルール、社会のルールを守ることが大前提となります。ルールに従って、正々堂々と勝負しなければなりません。とりわけ、我々商社は、信用が何よりも大事であり、一旦信用を失うと、企業として存続できないこともあります。我々として利益を追求することは当然ですが、それはルールを守ることが大前提です。

「正義と利益のどちらかを取らねばならないような状況に遭遇したら、迷わず正義を貫け」これは当社グルー

プで共有しているコンプライアンスの大前提となる言葉です。

先ほど、丸紅という会社は、一生懸命努力してチャレンジする限り、失敗しても次のチャレンジのチャンスを与える会社だという話をしました。しかし、会社のルール・社会のルールに違反した場合、セカンドチャンスはありません。このことは、しっかりと頭に刻んで頂きたいと思います。

3. 当社を取り巻く経営環境と求められる力

続いて、当社を取り巻く経営環境、そして、これから求められる人材について、お話ししたいと思います。

いま世界は、時代の転換期を迎えています。

冷戦後の米国を中心とした新自由主義が終わりを迎えつつあり、世界的に自由貿易の枠組みが変化しはじめています。金融情勢についても、世界的な超低金利、金余りの状態が変化しつつあるのは明らかで、我々を取り巻く経済環境は大きく変わろうとしています。一方で、IoT やビッグデータ、AI といった情報技術は我々の想像を超えるスピードで進化し、ビジネスの在り方を変えるほどのインパクトを与え始めており、様々な新しいビジネスが生まれています。

今まさに、世界規模で、いろいろな意味での大きな **Game Change** が起きようとしているのです。

これは、当社のビジネスにおいても同じです。過去の成功モデルに頼って、既得権を守り、これまでと同じやり方を続けているだけでは縮小していくのみです。一方で、これをチャンスと捉えて、新たなことに果敢に挑戦し、この環境変化を取り込むことができれば、大きな成長を遂げることができます。そういう意味で、丸紅の長い歴史の中でも、大きなターニングポイントに直面していると捉えています。

こうした、変化が早く、多様性や複雑性に富んだ環境下においては、つまり、情報・知識・知恵を駆使して、真に社会に役立つ価値を創造し続けることができる者だけが勝者となります。いわば、「**知の勝負**」の時代です。

知の勝負において大切なのは、まず行動を起こす力、その中で実際に何が起きているのかを肌で感じる力、そこから自由に発想する力、その発想をどうやってビジネスにつなげるかを考える力、そしてそれを実行する力です。行動し、感じ、発想する、そしてとことん考え、プランを作ってそれを実行する、というサイクルを常に回すことを続けてほしい。

先輩の背中についていけば十分だという時代は終わりました。自分の担当業務のプロであることは勿論ですが、それに留まることなく、担当以外の分野にも広く興味をもち、よく勉強して、また、世代や会社を超えていろいろな人との交流を重ねてください。そして、人間としての厚みや幅のある、人間力にあふれる丸紅パーソンを目指してください。

4. 最後に

今日から皆さんは丸紅の社員です。一人ひとりが丸紅の社員として誇りと自覚を持って、これからの会社人生を歩んでください。

社長である私と、今日から社会人として第一歩を踏み出される皆さんは、立場こそ違え、大きな夢に向かって新たにチャレンジしていくという点においては同じです。丸紅という会社のインフラ、ネットワークをフルに使って、ともに力を合わせて、勝ち抜いていく道を、丸紅の未来を、ともに切り拓いていきましょう。

皆さんのご健闘と活躍を心から期待して、本日の私の歓迎の挨拶と致します。

以 上